

三菱重工、5月までに10基 汚染水タンク出荷開始 高い密封性と強度を確保



三菱重工が発表した。同発電所向け汚染水貯蔵タンクとして初の工場完成型タンクで、5月までに10基を出荷する予定だ。

三菱重工は10日、東京電力の福島第一原子力発電所向け汚染水貯蔵タンク(II写真)の出荷を神戸造船所二見工場(兵庫県明石市)で開始した。

三菱重工は同日、東京電力の福島第一原子力発電所向け汚染水貯蔵タンク(II写真)の出荷を神戸造船所二見工場(兵庫県明石市)で開始した。同発電所向け汚染水貯蔵タンクとして初の工場完成型タンクで、5月までに10基を出荷する予定だ。

今回納入する縦置き溶接構造タンクは炭素鋼製で、直径八・一m、高さ十五・六m、厚さ十六mm、容量七百立方m。東京電力では現在、汚染水を貯蔵しているフランジ構造タンクや横置きタンクから、縦置き溶接構造タンクへのリプレースや増設のJ1、J5エリアに、十萬六千立方mの溶接型の鋼製円筒型タンクを一四年度上半用途に設置する。

貯留タンクの増設計画を報告 規制委に東電

東京電力は四日、福島第一原子力発電所事故炉における処理水の貯留タンクを、一四年度末に総容量約八十万立方mまで増設する計画をまとめ、原子力規制委員会に報告した。これまでの計画より一年前倒しすることとした。

同社の報告によると、一四年度三月二十五日現在、多核種除去設備などで処理された水の貯蔵容量約四十四・六万立方mに対し、タンクの貯蔵容量は約四十八・六万立方mとなっており、至近の増設計画としては、敷地南

を進めているが、これらのタンクはその一翼を担うこととなる。

今回のタンク製作に当たっては、高い密封性と強度、そして短納期が求められた。同社はこれに対し、実績豊富な溶接および加工技術を駆使するとともに、熟練作業員が工場で作成できる工場完成型とする事で、原子力製品としての安定した高い品質と短納期を実現した。

二見工場から出荷したタンクは、海上輸送と原子力発電所の構内輸送を経て、所定の場所に据付けられる。据付けは同社が実施する。

三菱重工は、今回のタンクを撤去し、新たに増設する予定となっている。

自主的安全性向上の提言で意見募集 経済産業省は原子力の自主的・継続的な安全性向上に向けた提言(案)に対する意見募集を五月三日まで行っている

経済産業省は原子力の自主的・継続的な安全性向上に向けた提言(案)に対する意見募集を五月三日まで行っている(同省HP <http://www.meti.go.jp/feed-back/index.html>)

また、今回の計画では、タンク増設に伴い、地下水流入量や、今後の高性能化・増設も見込んだ多核種除去設備での処理量による処理水の発生量について、水バランス評価を実施している。

水の安心のため給水器開発 セシウム吸着に効果

日本原子力研究開発機構と倉敷繊維加工はこのほど、電子線グラフト重合技術で共同開発したセシウム捕集材を組み込んだ家庭用給水器のモニター試験を福島県の川内村で一年間実施し、十分な効果を確認したと発表した。両者は二一年に、水に溶けた放射性セシウムだけを選択的に吸着できる捕集材の開発に成功し、倉敷繊維加工では、この捕集材を充てんしたカートリッジを製品化している。給水器は、可溶性セシウムに対して選択

最新技術搭載のPET-CT発売 東芝メディカル

東芝メディカルシステムズは十一日、PET装置(陽電子放射断層撮影装置)とCT装置(コンピュータ断層撮影装置)を一体化したPET-CTシステム「東芝スキャナ Celestion(セレスティオン)」を国内で販売開始したことを発表した。

このセレスティオンは、近年PETの画質を向上させるTOF(Time of Flight)技術やCT被ばく低減技術などの最先端技術を搭載しており、がんの診断を主とする臨床で求められるPET-CTシステムとして、最新鋭の性能を有している。被ばく低減には東芝独自の技術である「AIDR 3D」を標準で搭載しており、日常の臨床で求められるPET-CTシステムのパフォーマンスを実現している。さらに、CT部が直径九十cm、PET部が八十八cmという、PET-CTシステムとして最大のガントリ開口径を採用したことに

全身用X線CTの最新ソフト 東芝メディカル

東芝メディカルシステムズは八日、全身用X線CT診断装置「Aquilion ONE」シリーズにおける最新クリニカルソフトウェア「Version 6.0」を発表した。これにより、冠動脈検査など、従来、CTでは困難とされていた様々な症例で、より精度の高いCT診断が可能となることが期待される。

日立アロカメディカルは三日、放射線量の高低を色分け表示するガンマカメラ「HGD-E2000」を発売した。放射線量の測定結果と、カメラで撮影した映像を重ね合わせることで、目視で線量を確認できるため、原子力災害被災地の除染活動の効率化につながる。今回、発売の機種は、福島県内を中心に実際の測定を行い、除染活動に係る人々からの要望も反映し、操作性の向上、

DR方式採用した移動型X線装置 日立メディコ

日立メディコは四日、移動型X線装置「シリウススターモバイルティア」を発表した(II写真)。ワイヤレスFPD(フラットパネルX線検出器)の採用により、撮影後三秒未満で画像を表示させることで、病室内でのスムーズな撮影だけでなく、救急時や災害時など、活用範囲が広がる。胸部撮影に有効なアーチ技術や、モノタンク式のX線発生装置など独自の技術をベースにして、移動性を高めるために、FPDを搭載したDR(Digital Radiography)方式を採用したのが特徴。追加撮影や複数枚撮影時にCRカセットを交換する手間をなくして、その場で画像確認することを可能とした。またワイヤレスFPDを採用しスループットを高めている。

自主的安全性向上の提言で意見募集 経済産業省は原子力の自主的・継続的な安全性向上に向けた提言(案)に対する意見募集を五月三日まで行っている

経済産業省は原子力の自主的・継続的な安全性向上に向けた提言(案)に対する意見募集を五月三日まで行っている(同省HP <http://www.meti.go.jp/feed-back/index.html>)

また、今回の計画では、タンク増設に伴い、地下水流入量や、今後の高性能化・増設も見込んだ多核種除去設備での処理量による処理水の発生量について、水バランス評価を実施している。

色分け表示のガンマカメラを発売 日立アロカ

日立アロカメディカルは三日、放射線量の高低を色分け表示するガンマカメラ「HGD-E2000」を発売した。放射線量の測定結果と、カメラで撮影した映像を重ね合わせることで、目視で線量を確認できるため、原子力災害被災地の除染活動の効率化につながる。今回、発売の機種は、福島県内を中心に実際の測定を行い、除染活動に係る人々からの要望も反映し、操作性の向上、

DR方式採用した移動型X線装置 日立メディコ

日立メディコは四日、移動型X線装置「シリウススターモバイルティア」を発表した(II写真)。ワイヤレスFPD(フラットパネルX線検出器)の採用により、撮影後三秒未満で画像を表示させることで、病室内でのスムーズな撮影だけでなく、救急時や災害時など、活用範囲が広がる。胸部撮影に有効なアーチ技術や、モノタンク式のX線発生装置など独自の技術をベースにして、移動性を高めるために、FPDを搭載したDR(Digital Radiography)方式を採用したのが特徴。追加撮影や複数枚撮影時にCRカセットを交換する手間をなくして、その場で画像確認することを可能とした。またワイヤレスFPDを採用しスループットを高めている。

マネジメントスクール参加者募集 6月に開催予定

日本原子力産業協会は、東京大学原子力専攻、日本原子力研究開発機構、原子力国際協力センター、原子力人材育成ネットワークと共同主催で、IAEA共催で「Japan-IAEA Joint Atomic Energy Management School」を六月九日(月)〜二十六日(木)、東京と東海村で開催することになり、参加者を募集している。

このスクールは、日本の若手原子力人材の国際化ならびに原子力発電新

世界原子力発電開発の動向 2014年版

世界原子力発電開発の現状
世界の発電所・安全対策への取組
世界の原子力発電所一覧表：
炉型・原子炉モデルを始め着工・臨界・営業運転の年月や設備利用率、主契約者、供給者、運転サイクル期間等、広範な情報を網羅
米国、アジア地域での建設・運転開始の状況、進展する新規導入国の計画等世界の動き

A4判 222頁 頒価(消費税、送料込)14,000円(原産協会会員 7,000円)

お申込み・お問合せは/一般社団法人日本原子力産業協会 政策・コミュニケーション部
電話 03-6812-7126 FAX 03-6812-7110 E-mail doukou@jaif.or.jp
URL: <http://www.jaif.or.jp/ja/news/2014/doukou.html>

世界の原子力発電開発の動向
World Nuclear Power Plants
2014

日英同時掲載

内容見本